

INTERIOR TASTE CHECK!

私の「お気に入りテイスト」がわかるチェックです。

- ①「テーブルの風景」「椅子」「照明器具」のそれぞれから好きな写真を1つずつ選び、アルファベットに○をつけてください。
- ②選んだアルファベットの欄に、○を記入してください。○の数が多いアルファベットがあなたの「お気に入りテイスト」です。次ページに各テイストの空間コーディネート例を紹介していますから、全体のイメージも確かめてみましょう。

①それぞれのグループの中から1つずつ好きなものの写真を選び、○をつけてください。

table top styling /好きなテーブルの風景は?



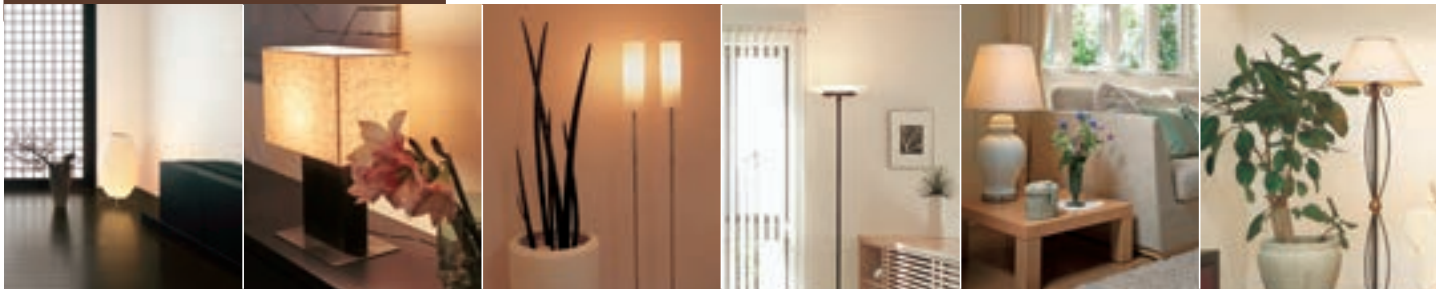
A B C D E F

chair /好きな椅子は?



A B C D E F

light /好きな照明器具は?



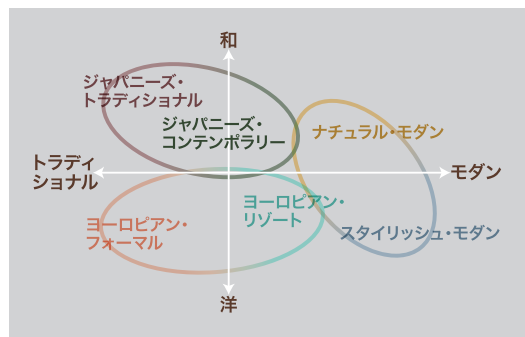
A B C D E F



②選んだアルファベットの欄に、○を記入してください。

	A	B	C	D	E	F
選んだアルファベットに○を記入	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
テイスト	ジャパニーズ・テイスト		モダン・テイスト		ヨーロッパ・テイスト	
	ジャパニーズ・トラディショナル	ジャパニーズ・コンテンポラリー	ナチュラル・モダン	スタイリッシュ・モダン	ヨーロッパ・フォーマル	ヨーロッパ・リゾート

○の数が多いアルファベットがあなたの「お気に入りテイスト」です。もしテイストが分散していたら、次ページのインテリア写真を見くらべて好みを整理してみましょう。



#12 心地良さのためのインテリア術 ①

ふだんの上質インテリアメイク

私のお気に入りテイストは？

インテリアを考えるのは好きだけれど、空間全体のコーディネートとなると難しい……そんなときヒントになるのが、家具や照明器具のデザインです。いつも目にはしていざと感じるデザイン、気が落ちていく心地良く過ごせるデザインを選ぶ、あるいは一定の傾向が浮かび上がります。それが自分の「お気に入りテイスト」で、たとえば色や質感がナチュラルなチェアが好きなら空間を構成する大きささまざまなアイテムも同じテイストでコーディネートすると、統一感のある上質な空間に仕上げやすいです。さてあなたは、どのテイストがお気に入り？

おもてなしの日だけでなく、いつ訪問しても「その人らしい、心地いい」と感じられる空間に出会ったことはありませんか？
そういう空間には、ある共通点があります。それは、肩の力が抜けているという「ふだん」の「ふだん」をベースに考えるのが秘訣なのです。そこで今号は積水ハウス独自の研究成果とノウハウを集め、「ふだんの上質インテリアメイク」のテクニックを特集しました。いつも心地良く、それでいて私らしい表情に満ちた空間づくりにお役立てください。



INTERIOR TASTE CHECK!

あなたの「お気に入りテイスト」の空間コーディネート例です。いかがですか？
もし他のテイストに移りてしまいそうなら、
その写真の何に惹かれているのかを考えるのも好みを整理するヒントになります。



B JAPANESE CONTEMPORARY

ジャパニーズ・コンテンポラリー
洋空間を基本に、なじみのある日本の美しさを取り入れる和洋折衷のテイスト。伝統の様式を装飾のアクセントとして使うことで、空間がニュアンスのある表情になります。



D STYLISH MODERN

スタイリッシュ・モダン
機能美や合理性をかねそなえた斬新なテイスト。質感が異なる素材を組み合わせたり個性的なモチーフや色をプラスするなど、持ち前のアーティスティックな感覚を存分に揮いましょう。



F EUROPEAN RESORT

ヨーロッパ・リゾート
ヨーロッパのリゾートのように、お洒落で洗練されたナチュラルさとまとめるテイスト。家具や小物も明るく軽やかなデザインを選び、大人のリラックス感を演出しましょう。



A JAPANESE TRADITIONAL

ジャパニーズ・トラディショナル
日本独自の暮らしかたや美意識、伝統の意匠を大切にすテイスト。家具類は直線的なデザインのもを基本にすると、空間の味わいも印象も深まります。



C NATURAL MODERN

ナチュラル・モダン
シンプルでナチュラルなぬくもりを大切にすテイスト。空間は自然素材が持つ色調が基本になりますから、季節の演出や遊び心はファブリックや小物のアクセントで楽しみましょう。



E EUROPEAN FORMAL

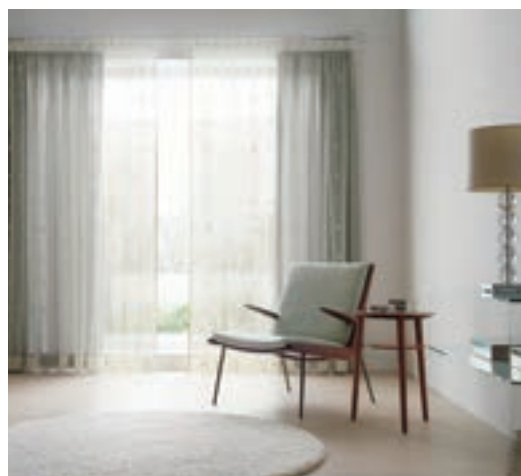
ヨーロッパ・フォーマル
ヨーロッパ伝統の格調高い様式美を現代的にアレンジするテイスト。アンティーク家具やシャンデリア、ラグなどによっては、より優美にも重厚にもコーディネートできるテイストです。

色使いは面積に合わせてがコツ

家族がふだん、ゆったりとくつろげる空間の決め手は、やはり「色」です。
でも色選びの前に大切なのは、じつは色の分量。色は使われる面積によって、印象がかなり異なってくる性質を持っているのです。
空間の約70%を占める床・壁・天井は「ベースカラー」と呼ばれ、マンションの場合は飽きの来ない柔らかな自然色がよく使われます。大きな面積を個性の強い色使いで仕上げると、家族が落ち着いて過ごせない空間になってしまうからです。

では「私らしさ」「わが家らしさ」はどこで表現するかというと、ソファやカーテン、キャビネットなどがおすすめです。空間全体の25%ほどの面積ですから、「メインカラー」として家族や自分がいちばん好きな色を選びましょう。

流行の色を取り入れたい、ちょっと冒険してみたいというアクセントカラーは、クッションや小さめのラグなどで取り入れましょう。これらは面積が全体の5%ほどですから、「メインカラー」の反対色を選んでも安心。個性的な表情になります。



写真提供：(株)川島織物セルコン

ちなみに、カラーコーディネートは「まとまりのある配色」にするかそれとも「きわだつ配色」にするか、このいずれかが基本になります。お気に入りの配色の傾向を「色相環」で見つけておけば、インテリアだけでなくファッションのコーディネートでも役立つはず。

私らしさを表現するポイントメイク術

好きなテイストで空間を整え、カラーコーディネートもすっきりとまとまれば、ふだんの上質インテリアもほぼ完成。あとはポイントメイクで、私らしい遊び心や季節を表現しましょう。

とくに「額」は面積のある壁面を効果的に使うことができるうえ、家具よりも気軽に模様替えしやすいアイテムです。また、立ったり歩いたりしている人の目に入りやすいのは、インテリアグリーン。床に大きな鉢を置かなくても家具を使って置く位置を高くすれば、空間の中間スペースを効果的に彩ることができます。ぜひ、おためしを！



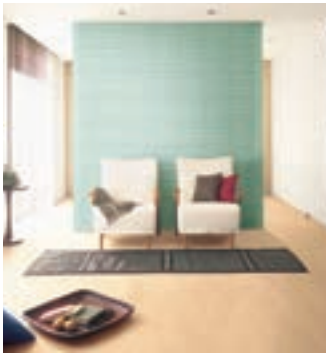
ゆるやかに空間を仕切る飾り棚。グリーンボックスがついていれば、視野の中ほどに潤いをプラスできます。



小物のディスプレイのコツは、高さの異なるアイテムを三角形を意識して並べること。最も背の高いものはセンターに。



小さな額も間隔を狭めてスクエア状にまとめれば、ギャラリーのように存在感のある壁面になります。



個性的な色柄もクッションやラグなどで取り入れると、静かなトーンでまとめた空間がぐんと表情を増します。



ファブリックパネルは壁面の演出にうってつけ。木製パネルと布があれば簡単に手作りできるのも、人気の秘密です。



- まとまりのある配色
同系色：同じ色で、色の明るさや鮮やかさの異なる色どうしの組み合わせ
類似色：色相環における左右2つくらいまでの色どうしの組み合わせ
- きわだつ配色
反対色：色相環で向かい合わせになる色どうしの組み合わせ（「補色」と呼びます）
- NGの配色
色相環で90°の位置にある色どうしの組み合わせ

意外と見落としがちですが、じつはカーテンは視野の中で最も大きな面積を占めるアイテム。カーテンの色によって空間の表情ががらりと変わってしまいます。そこで、ドレープとレースを逆にするというアイデアはいかが。室内側にレースカーテンを配することで、空間の表情が見違えるほど生き生きとてきます。